



2年生対象 看護医療技術系進学希望ガイダンス①

2017/6/7

6月7日(水)の放課後、生物講義室において2年生を対象にした看護医療技術系進学希望ガイダンスの1回目を開催しました。このガイダンスは、2年間かけて、合計6回行われます。講師に、東京医療保健大学入試広報部部長代理の鈴木和文氏をお招きして約2時間半にわたるご講演をいただきました。

今回は、全6回行われるガイダンスの1回目でした。看護医療の基礎概論として、『かけがえのない命をみつめて(導入編)』という演題で、進学希望者に心構えとして大切なお話を丁寧にわかりやすくご指導をいただきました。



講師の鈴木先生とガイダンス時の様子

ガイダンスのポイント

- なぜ、医療人を目指すのか(志望理由)
 - ※他学部入試とは異質傾向。
 - 人間性・適性の重視：何をしたいか/何が出来るか目的意識が大切
- 人間性・適性のチェックポイント(心構え)
 - ※看護医療保健系では
 - 人間関係**が大切：直接患者を看護
 - ア 初対面の人でも信頼関係を築く
 - イ 人を差別しない
 - ウ 協調性：みんなで1つのものを共有
 - エ 自然な笑顔
 - 適性**を考慮：解剖の勉強もある
 - 体力**が必要：健康が一番
 - 笑顔**が大切：自然な笑顔ができるか
- 自己分析が出来ないと志望理由書は書けない。
- 的を得た勉強をする。(資料を参照)
- 何がなんでも現役で受かる。
- 医療の知識のある人の助言を受ける。

自己分析の仕方(グループワーク)

○(良い面・プラス面)		×(マイナス面)
	① 自分	
	② 友人	
	③ 先生	
	④ 親	

<グループワーク時の様子>



- (手順①)自分のプラス面とマイナス面を書き出す。
 (手順②)友人に自分の良いところと悪いところを言ってもらい書き出す。
 (手順③)先生と親に、自分の良いところと悪いところを教えてもらい表を完成させる。

<アドバイス>

- ※完成した表の中の共通部分があなたです。
- ※マイナス面もあなたです。でも、マイナス面も見方を変えればプラス面になります。
(例) マニアック ⇔ 集中力がある
マイナスをどうプラスに変えられるかです。
- ※バラバラなコメントもあなたです。
- ※自己分析ができていないと、人のことは言えません。
- ※自分を冷静にみる。良いところは良いと認めてあげる。
- ※人の悪いところは、一言だけでいい。
- ※面接では、**前向きな姿勢を持っているかを見られる。そのためにも、自己分析と強い職業観(=心構え)が必要である。**
- ※この表の完成が、志望動機になる。

